

～富士見生の今を伝える～

発行5000部

コミュニティ通信 Neo



静岡県富士見高等学校
コミュニティ研究会

10大ニュース結果

1位 116票

春高バレー全国大会
ベスト8 [1月]

2位 97票

春高バレー県大会
女子12連覇達成 [11月]

3位 89票

富士見祭、体育祭延期
も盛り上がる [6月]

4位 79票

3年生卒業、国公立大学
合格45名過去最高 [3月]

5位 67票

2年生修学旅行、広島・
神戸・大阪へ [12月]

6位 61票

3年生八景島へ遠足 [11月]

7位 58票

陸上部2種目で全国総体、
土屋100m準決勝へ [7月]

8位 48票

全国プラモ選手権ガンプラ
部門で田中が優秀賞 [10月]

9位 47票

台湾の精誠高校と特進コー
スがオンライン交流 [11月]

10位 42票

探究学習アオハル2年連続
県最優秀賞 [11月]



▲春高バレー全国大会ベスト8達成 [1月]

アンケートは、今年話題になった校内ニュースを40項目提示し、その中から10大ニュースにふさわしい項目を10項目選ぶという形式で実施し、新たな項目の追加も可となりました。その結果、2年生、3年生153名の回答がありました。

「2024年富士見高校10大ニュース」堂々の第1位に輝いたのは女子バレー部の11月「春高バレー県大会12連覇」でした。女子バレー部は春高バレー県予選で12連覇(17回目の優勝)を果たした11月のニュースも2位に入り、7月の全国総体出場が13位、10月の国民スポーツ祭出場が16位に入るなど、2024年はさながら女子



今年も盛況の富士見祭 [6月]

「3位は富士見祭全校盛り上がる」3位は最大の校内行事の一つ、富士見祭が69票で入りました。昨年の10位から大幅ランクアップした理由は、天候不順等で体育祭の延期がありながらも、一致団結して全校で盛り上がり、富士見高生全員が完全燃焼できたことが要因です。

2024年
富士見高校
10大ニュース
1位
春高バレーベスト8

2024年も年の瀬、コミュニティ研究会新聞班では今年の「富士見高校10大ニュース」を153名のアンケート結果から発表します。1位は1月の「春高バレー全国大会ベスト8」、2位も女子バレー部の11月「春高バレー県大会12連覇」でした。バレー部の年でした。年明け1月に開催の春高バレーも応援バスで東京まで連日大会に大応援団で駆けつけます。

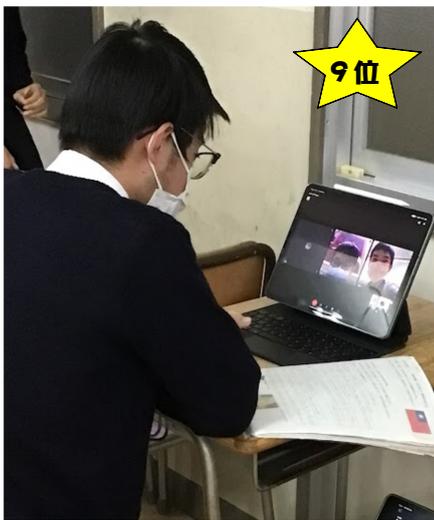
2024年 富士見高校 10大ニュース

「2024年富士見高校10大ニュース」の4位以下をこの面で紹介します。

4位は3月のニューース「3年生卒業、国公立大合格が過去最高45名」が79票でランクインしました。特に特進1類の卒業生全体の7割近くが国公立大に合格したのは後輩たちに希望を与えました。



8位
全国プラモデル選手権大会
富士見高等学校
▲田中琥珀さん(2年)が優秀賞



9位
▲台湾高校生とのオンライン交流



10位
▲探究学習で2年連続の最優秀賞

4位 国公立大合格数過去最高

なお、令和7年度より特進コースはI類とII類を発展的に解消し、学習中心の生活ならばAクラス、学習と部活動の両立ならばSクラスへと、進級時に希望に応じたクラスの選択が可能になります。

10大ニュース5位は12月の「2年生修学旅行」に67票が入りました。今年は素晴らしい天気恵まれ、広島(平和学習)、神戸(班別研修)、USJ(班別研修)、大阪(クラス別研修)の各研修を有意義に行なうことができました。

昨年の10大ニュースでは女子バレー部を筆頭に陸上競技部、バドミントン部、女子ソフトテニス部など運動部の全国出場がランキング上位を占めていました。

かし、2024年は3年生の横浜八景島遠足が6位に、美術部個人の全国プラモデル選手権優秀賞が8位に入ったのをはじめ、9位には特進コースでの昨年に引き続き台湾高校生との交流、10位に入

地域交流も盛ん
他に、今年も地域交流のニュースが多く見られました。小・中学校とは箏曲部が

ランキング11位以下でも、全国5位の将棋部女子(13位)、新聞で全国初出場のコミュニティ研究会(19位)や、来夏の全国総文出場を決めたバトントワリング部(16位)、近年の活躍が目覚ましいカルタ部などの文化部の他、家庭科での給食コンテスト入賞、保健委員会の献血ボランティア「アポちゃんサポーター」、模擬裁判選手権への参加など、部活動以外にも文化活動に参加しているニュースが増えたのが2024年の特徴と言えます。

縄跳びで大活躍
アジア大会7位
ランキングでは15位でしたが石田・吉田ペア(3年)が参加した縄跳びのアジア大会で7位入賞したのはパラエティに富んだ2024年10大ニュースの特徴を良く表しています。
[担当]
加藤・山崎(2年)

た2年連続県最優秀賞獲得のアオハル探究学習など、文化活動が票を集める結果となりました。

文化活動が盛んになった2024年

その他の主な出来事

- [1月] 【書道部】 東部書作展で東部会長賞
- [2月] 【マラソン大会】 雨予報が覆り開催
- [3月] 【3年生】 卒業式テレビ静岡で放映
- [4月] 【歴史研究会】 由比宿などを巡検
- [5月] 【カルタ部】 選手権で県ベスト8
- [放送部] NHKコン8名県大会へ
- [6月] 【陸上競技部】 U20日本選手権の男子100mで土屋太陽(3年)が出場
- 【箏曲部】 富士第一小生に演奏会
- [7月] 【縄跳び】 アジア大会7位入賞
- 【バドミントン部・陸上競技部・女子ソフトテニス部・女子バレー部】 全国総体出場
- [8月] 【将棋部女子】 全国総文祭団体5位
- 【コミ研新聞班】 全国総文祭初出場
- 【吹奏楽部】 県大会で銀賞
- [9月] 【バトントワリング部】 全国決定
- [10月] 【コミ研】 海岸清掃でプラゴミ55袋
- [11月] 【美術部】 「岳南電車まつり2024」ヘッドマークコンテスト最優秀賞
- [12月] 【1年】 税の作文で富士税務署長賞